

株式会社原ノ町鉄工

<https://www.haranomachi.co.jp/>



特定の分野に依存しないという経営方針から、モーター、半導体、空調、医療機器、機械加工など、基本的に20%以上は依存しない構成にして様々な分野の機械加工を行っている



所在地：佐賀県神埼市千代田町境原787

設立：1972年

事業内容：

金属、非鉄金属（鉄、ステンレス、アルミ、真鍮、銅）の部品加工

/ 省エネ・カーボンニュートラルの取組

●電力（電気）が工場内のエネルギー使用量の大半を占める

消費エネルギーで一番使用量が多いのは電力のため
無駄な電力を減らすように見える化で管理

電気使用量削減の意識づけ

従業員が電気の使用状況を確認できるように
モニター付きデマンド警報器を事務所に設置



電気の使用状況が分かるモニター付きデマンド警報器

●夏季の暑さ対策（働きやすい職場環境づくり）

工場内の大型機械の発熱で夏季の室温は40度近い労働環境



設備投資の金額は限られている中でエアコンの機種を最新型に変更する他に対策はないか検討



大手企業を取り入れている省エネ情報を調べて参考にする

5棟ある工場の内、一番大きな工場の折版屋根に遮熱塗装を実施

導入前後の夏季で工場室内温度と比較すると **8℃程度低下**

結果的にエアコンの電気使用量削減につながる



遮熱塗装を実施した工場折版屋根

カーボンニュートラル関連支援策活用事例：ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

/ 支援策の活用効果

電力使用量削減も視野に入れ最新のマシニングセンタ（半導体の製造装置や医療機器部品の加工等の切削加工を1台で行える工作機械）を導入

商社より「ものづくり補助金」を紹介してもらい申請・採択

導入後、工場全体の電気使用量は前年と比較して削減

生産性向上
(生産時間が4割程度短縮)



導入したマシニングセンタ

/ 今後の展開

従業員のための様々な職場環境改善が結果的に省エネやカーボンニュートラルへつながると考えています。将来に向けて「工場全体のLED化」「エアコンに節電エアコンフィルター導入の検討」「他の工場での遮熱塗装の採用」「大型機器の老朽化による最新機種導入」「太陽光等を導入した省エネ型の新工場建設」等、今後も可能な限り補助金等の活用も視野にしながら省エネ・脱炭素に取り組んでいきたいと思っています。



お話を伺った中野常務

/ ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

<https://portal.monodukuri-hojo.jp/>

中小企業・小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更等に対応するため、生産性向上に資する革新的な新製品・新サービス開発や海外需要開拓を行う事業のために必要な設備投資等に要する経費の一部を補助する事業を行うことにより、中小企業等の生産性向上を促進し経済活性化を実現することを目的とする補助金。

基本要件

中小企業・小規模事業者等が、革新的な製品・サービス開発を行い、

- ①付加価値額の年平均成長率が+3.0%以上増加
- ②1人あたり給与支給総額の年平均成長率が事業実施都道府県における最低賃金の直近5年間の年平均成長率以上又は給与支給総額の年平均成長率が+2.0%以上増加
- ③事業所内最低賃金が事業実施都道府県における最低賃金+30円以上の水準
- ④次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を公表等（従業員21名以上の場合のみ）の基本要件を全て満たす3～5年の事業計画に取り組むこと。

内容

	製品・サービス高付加価値枠	グローバル枠
要件	革新的な新製品・新サービスの開発による高付加価値化	海外事業の実施による国内の生産性向上
補助上限	750万円～2,500万円	3,000万円
補助率	中小企業1/2、小規模・再生2/3	中小企業1/2、小規模2/3
補助対象経費	<共通>機械装置・システム構築費（必須）、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウドサービス利用費、原材料費、外注費、知的財産権等関連経費 <グローバル枠のうち、海外市場開拓（輸出）に関する事業のみ> 海外旅費、通訳・翻訳費、広告宣伝・販売促進費	
その他	収益納付は求めない	